

# 日本ナレッジ・マネジメント学会

## 第26回定時会員総会資料

日時:2023年5月27日(土曜日)10:00~12:00

場所:ZOOM ミーティング

### <議題>

第1号議案 第25期(2022年度)活動報告及び決算報告案承認の件

第2号議案 第25期(2022年度)会計監査報告の件

第3号議案 第26期(2023年度)活動計画及び予算案承認の件

第4号議案 第26期(2023年度)役員の改選

### <本学会会員の状況> ※2022年度、2023年度会費納入数

	2022年 3月末	2023年 3月末	前年比
個人会員	122名	116名	6名減
法人会員	9社9口	8社8口	1口減

**第 1 号議案 第 25 期(2022 年度)活動報告及び決算報告承認の件**

**第 25 期(2022 年度)活動報告**

第 25 期における学会事業の実施内容は以下の通りである。

I. アドミチームの活動

1. 総務会計

(1) 定時会員総会

第 25 回定時会員総会

日時 2022 年 5 月 28 日(土) 10:00-12:30

場所 ZOOM

議題 第 1 号議案 第 24 期(令和 3 年度)活動報告及び決算報告案承認の件

第 2 号議案 第 24 期(令和 3 年度)会計監査報告の件

第 3 号議案 第 25 期(令和 4 年度)役員人事

第 4 号議案 第 25 期(令和 4 年度)活動計画及び予算案承認の件

議案の通り承認された。

【フューチャーセッション】

・企業におけるナレッジ活用と、活用を支援する当社の取り組み(村上理事発表)

・法人会員参加の目的、実践上の課題(田村理事発表)

・ナレッジ・マネジメントを実務に適用する際の課題に対する解決案、意見交換

理事 2 名からの発表に基づき会員間で意見交換を行った。バックグラウンドの異なる会員と話し合う行為それ自体に、ナレッジ・マネジメントの多様性が見られた。

(2) 理事会

① 第 45 回理事会

日時 2022 年 4 月 30 日(土) 16:00-18:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

議案と結果

議案 1: 第 25 回定時会員総会について

決定事項: プログラム内容、役割分担、欠席確認方法、総会資料の確認を行った。

議案 2: 令和 4 年度予算案について

決定事項: 内容を承認した。

議案 3: その他

(1) ホームページリニューアル企画書(案)の検討。

(2) 総会関係\_フューチャーセッションのコーディネーターを決める。

(3) 副会長の退任の旨を報告。総会報告議題とする。

② 第 46 回理事会

日時 2022 年 5 月 21 日(日) 17:30-18:30

場所 オンライン会議(ZOOM)

議案と結果

議案 1: 第 25 回定時会員総会企画運営の最終詰め

決定事項: 一條会長挨拶の動画再生事項など総会運営の詳細を詰める。

議案 2: ホームページリニューアル企画書(案)の検討

(1) 予算案の承認を得る。

(2) プロジェクト体制の議論をする。

③第 47 回理事会

日時 2022 年 6 月 26 日(日) 16:30-18:30

場所 オンライン会議(ZOOM)

議案と結果

議案 1: 第 25 回定時会員総会レビュー

(1) アンケート結果の共有と課題確認、次年度へのアクションの確認。

(2) その他の課題、よかった点の共有。

議案 2: ホームページリニューアル企画書(案)の検討

決定事項: 業者の選定については、理事会で承認を得ることについて確認した。

次回理事会では、3社の見積と仕様について提示することが決まった。

次回理事会で承認を得るために、企画書の確認を行った。

議案 3: 第 25 回年次大会について

決定事項: 日程 10/30(日) (時間は今後決める)

理事にテーマの方向性についてアンケートを取る。

議案 4: 会員への提供価値について

決定事項: 法人会員については、入会目的などアンケートで確認し、それに合うメリットを検討する。

④第 48 回理事会

日時 2022 年 7 月 24 日(日) 16:30-19:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

議案と結果

議案 1: 第 25 回年次大会について

・開催日 : 11/27(日)

・方式 : オンライン

・メルマガ: 8 月号で日程を案内する。

大会リーダーからの発信とする。総務会計アドミで素案を作る。

議案 2: ホームページリニューアル PJ 進捗報告

・業者選定 : 理事会としてはインスパイアデザインに決定。

・今後の進め方: 決定した業者と PJ で仕様を詳細化する。

理事会などで随時、報告/相談し年度内にリリースできるよう進める。

⑤第 49 回理事会

日時 2022 年 8 月 28 日(日) 16:30-18:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

議案と結果

議案 1: 第 25 回年次大会について

- (1) 基調講演:関西学院大学の松本雄一先生を候補とする。  
→ 筒井先生から松本先生にお声かけし野村先生に繋げる。
- (2) パネルディスカッション登壇の理事の選出  
野村先生が素案を作る。Slack にて検討する。
- (3) メルマガの発行、peatix の準備などの段取りは総務アドミにて検討する。

## 議案 2: ホームページリニューアル PJ 進捗報告

- (1) 今後、業者(インスパイアデザイン)との折衝は広報アドミに一任する。  
※ 広報アドミ(HP リニューアルプロジェクト担当)以外から業者へのコンタクトは禁止する。プロジェクトの円滑な進捗のため。
- (2) 理事会では進捗報告をおこなう。
- (3) 保守契約について、広報アドミから業者に確認する。

## 議案 3: 学会誌について

- (1) ルールの改訂について、筒井理事が編集委員会を開催し検討する。

## ⑥ 第 50 回理事会

日時 2022 年 10 月 2 日(日) 16:30-18:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

## 議案と結果

## 議案 1: 上期活動レビュー

各研究部会、アドミの上期活動成果と課題を確認しあう。

## 議案 2: 第 25 回年次大会について

決定事項: 基調講演は、関西学院大学の松本雄一先生で確定。

パネルディスカッションのファシリテーターとパネラー候補を決める。

## 議案 3: 広報活動のリニューアル

決定事項: 発注範囲と金額を決定。

## ⑦ 第 51 回理事会

日時 2022 年 10 月 30 日(日) 16:30-18:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

## 議題と決定事項

議案 1: 上期活動について海外アドミの活動確認を行った。

## 議案 2: 第 25 回年次大会について

決定事項: 午後の自由論題の応募状況を事務局に確認し、slack で共有する。

その他: 研究部会の発表資料の作成期限を総務アドミから slack で案内する。

大会レポートの執筆を理事で分担する。

## 議案 3: 広報活動のリニューアル

決定事項: 学会ホームページについて要望があれば slack で共有する。

## ⑧ 第 52 回理事会

日時 2022 年 11 月 17 日(木) 19:00-20:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

## 議題と決定事項

## 議案 1: 第 25 回年次大会について

決定事項: 基調講演の謝礼金の考え方を明確にした。

アクションアイテムの整理を行い各自実行すること。

トラブル発生時の基本的な考え方を整理した。

⑨第 53 回理事会

日時 2023 年 1 月 22 日(日)19:00-20:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

議題と決定事項

議案 1: 第 25 回年次大会の振り返り

決定事項: FY23 は、総会と年次大会を別にして年次大会は 10 月とする。

FY24 は、総会と年次大会を一緒にする。

議案 2: 今年度活動の振り返り、来年度活動計画依頼

決定事項: 次回理事会での報告

議案 3: 来期理事体制について

決定事項: 2 年に一度の改正時期。各理事から継続意思表示依頼。

議案 4: ホームページリニューアル状況報告

決定事項: これまでの指摘事項への対応状況及び運用ルール(更新の分担)について八田理事から説明。◎更新負荷の分散については、了承済。

議案 5: アメリカ部会の起案について

決定事項: Social and Environmental Justice への KM の貢献について検討する部会とし、部会立ち上げについて承認。

議案 6: ISO TC260 国内委員会への参加承認確認

決定事項: 参加することで承認。

⑩第 54 回理事会

日時 2023 年 2 月 19 日(日)16:00-18:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

議題と決定事項

議案 1: 今年度活動の振り返り、来年度活動計画

決定事項: 各研究部会部会長、アドミリーダーより発表。承認される。

議案 2: 来期理事体制について

決定事項: 退任メンバーと新規理事推薦メンバーの確認。

議案 3: 来年度予算案の検討

決定事項: 単年度黒字予算を目指し、再検討をする。

議案 4: ホームページリニューアル状況報告

決定事項: 保守契約内容と費用をプランニングすること。

議案 5: 第 26 回総会

決定事項: 5/27(土)を候補として一條会長と調整をする。

フューチャーセッションや講演などのコンテンツは用意しない。

⑪第 55 回理事会

日時 2023 年 3 月 25 日(土)16:00-18:00

場所 オンライン会議(ZOOM)

議題と決定事項

議案 1: 第 25 期活動総括、第 26 期活動方針

決定事項：一條会長からのメッセージを穂積が代読。

議案 2: 今年度活動の振り返り、来年度活動計画

決定事項：前回未発表メンバーからの発表、承認。

議案 3: 来年度予算案の検討

決定事項：単年度黒字予算を目指し、再検討をする。

議案 4: ホームページリニューアル状況報告

決定事項：最終の金額の締めを確認、承認。レクチャー会の予告を行う。

議案 5: 第26回総会

決定事項：アジェンダの確認

## 2. 大会・研究会

日時：2022年11月27日(日)9:20(9:00開場)～17:00

場所：ZOOM ミーティング

テーマ：個人、家族、チーム、組織、コミュニティ、社会、そして地球

～知識創造で解くべき課題設定を問い直す～

大会リーダー：野村恭彦氏(金沢工業大学虎ノ門大学大学院教授、Slow Innovation 代表、学会理事)

大会運営サポート：総務会計アドミチーム

### 実施概要

1. 開会挨拶 会長 一條和生氏

2. 基調講演：松本雄一氏(関西学院大学教授、会員)

テーマ：「実践共同体から見るナレッジ・マネジメントの未来」

3. パネルディスカッション

テーマ：「個人、家族、チーム、組織、コミュニティ、社会、そして地球の各レベルでの知識創造の最先端の課題は？」

司会・コメンテーター：野村恭彦氏(金沢工業大学虎ノ門大学大学院教授、Slow Innovation 代表、学会理事)

パネリスト：松本雄一氏(関西学院大学教授、会員)

伊藤圭之氏(京都市行財政局総務部総務課担当係長、一般社団法人アソボロジー 代表理事)

伊藤武志氏(大阪大学教授、学会理事)

筒井万理子氏(近畿大学教授、学会理事)

西原(廣瀬)文乃氏(立教大学准教授、学会理事)

野村恭彦氏(金沢工業大学虎ノ門大学大学院教授、学会理事)

### 4. 研究部会活動報告

① 東海部会/栗本英和氏

② 知の創造研究部会/植木英雄氏

③ 実践ナレッジ・イノベーション研究部会/西原(廣瀬)文乃氏

④ SDGs 研究部会/高山千弘氏

⑤ 新産業革命研究部会/田原祐子氏

⑥ ISO 等標準化研究部会/齋藤稔氏

5. 研究発表

トラック A:

研究発表 1

論題:「都市の脆弱性とナレッジ:ソーシャルアントレプレナーシップの視点から」

報告者:理事 岡田依里氏 (Boston Cancer Policy Institute, Inc, Senior Academic Fellow)

司会・コメンテーター:理事 高山千弘氏

研究発表 2

論題:「メタバース空間における協働過程の発話コミュニケーション解析」

報告者:理事 栗本英和氏 (名古屋大学未来社会創造機構)

理事 西原(廣瀬)文乃氏 (立教大学経営学部)

司会・コメンテーター:理事 加藤鴻介氏

トラック B

研究発表 1

論題:「音声つづやきシステムを用いた漁船機関保守のナレッジ・マネジメント」

報告者:会員 井上杜太郎氏 (北陸先端科学技術大学院 JAIST)

司会・コメンテーター:会員 西中美和氏 (香川大学大学院教授)

研究発表 2 (15:15-15:45)

論題:「後進層が期待するベテラン経験知の価値とその移転

—IT企業A社SE部門におけるベテラン層と後進層による知の協創—」

報告者:会員 細野一雄氏 (JAIST 知識科学博士)

司会・コメンテーター:理事 植木英雄氏 (知の創造研究部会長)

6. パネルディスカッションのクロージングダイアログ

7. 閉会の辞 大会代表世話人 理事 西原(廣瀬)文乃氏

3. 海外

1. 海外学会参加

KMGN ネットワークミーティングに 3 回参加

タイバンコクの KM の支部の Vincent 氏を訪問し打ち合わせ

2. 講演会の実施

海外ジャーナル投稿を支援するため講演会を実施

3. アメリカ支部設立

岡田依里理事を部会長とするアメリカ部会の設立を支援

4. 学会誌「ナレッジ・マネジメント研究」の発行

誌名:ナレッジ・マネジメント研究第 20 号

発行部数:180 部

配布先:個人会員 120 部、法人会員 24 部、

法人・個人勧誘用 6 部、予備 30 部

内容:

## 【論文】

暗黙知の協創プロセス—イノベーション発動型ワークショップの発話プロトコル分析による、知と概念の創生モデリング—

……………栗本英和／上井元／林勇吾／清水謙杜／國枝絵里／西原(廣瀬)文乃

## 【第24回年次大会 基調講演】

まちづくりDX, SDGsへの取り組みから—価値共創の未来まちづくりへ— ……………笹谷秀光

## 【第24回年次大会 特別講演】

NEC が目指す未来のまちづくりと全体最適によるスマート化 ……………受川裕

## 【第24回年次大会 パネルディスカッション】

まちづくり DX への取り組み, 全体最適なスマート社会への転換に向けたイノベーションの社会実装の課題と KM の役割……………中鉢欣秀／笹谷秀光／受川裕／西原(廣瀬)文乃

## 【編集後記】

……………筒井万理子

## 5. 広報

- (1)HP 更新による適時適切な情報共有の実施  
(2)日本ナレッジ・マネジメント学会メールマガジンの発行

## ・第 145 号

発行日 2022 年 4 月 12 日

内容 ◆学会誌第 21 号投稿の募集案内

◆リレーエッセイ

◆本学会事務局からのご案内

◆編集後記

## ・第 146 号(総会事前特別号)

発行日 2022 年 5 月 9 日

内容 ◆第 25 回定時会員総会開催のご案内

## ・第 147 号

発行日 2022 年 6 月 14 日

内容 ◆第 25 回定時会員総会開催のご報告

◆実践ナレッジ・イノベーション研究部会

2022 年 6 月度研究部会開催のお知らせ:6 月 21 日(火)19:00-21:00

◆第 58 回知の創造研究部会 15 周年記念講演と討論のご案内

◆経営関連学会協議会主催 公開講演会のご案内

◆実践ナレッジ・イノベーション研究部会&ISO 等標準化研究部会 合同研究部会

◆東海部会季報(2022 年 4 月号)掲載のご案内

◆KMSJ 海外通信 2022 年 5 月 ナレッジマネジメントは民主主義の危機を救うか

◆リレーエッセイ



- ◆学会誌第 21 号投稿の募集案内

- ◆本学会事務局からのご案内

- ◆編集後記

・第 148 号

発行日 2022 年 8 月 12 日

内容 ◆第 25 回年次大会の開催について

- ◆第 25 回年次大会自由論題の報告者募集について

- ◆第 58 回知の創造研究部会 講演と討論のご案内(リマインダー)

- ◆2022 年 8 月度、9 月度 実践ナレッジ・イノベーション研究部会のご案内

- ◆「ISO 30401:2018/Amd 1:2022 Knowledge management systems - Requirements -Amendment 1 英・日対訳版」発行のお知らせ

- ◆学会誌第 21 号投稿の募集案内

- ◆本学会事務局からのご案内

- ◆編集後記

・第 149 号

発行日 2022 年 10 月 12 日

内容 ◆第 25 回年次大会骨子

- ◆第 25 回年次大会自由論題の報告者募集について(メルマガ No.148 に掲載再掲)

- ◆第 59 回知の創造研究部会のご案内

- ◆学会誌第 21 号投稿の募集案内

- ◆本学会事務局からのご案内

- ◆編集後記

・第 150 号

発行日 2022 年 11 月 8 日(大会特別号)

内容 ◆第 25 回年次大会の参加ご案内

- ◆第 59 回知の創造研究部会 12/9 のご案内(リマインダー)

- ◆学会誌第 21 号投稿の募集案内

- ◆編集後記

・第 151 号

発行日 2022 年 12 月 12 日

内容 ◆第 25 回年次大会の開催報告(速報版)

- ◆英文 TOP ジャーナルの投稿論文ポイント講義へのお誘い

- ◆リレーエッセイ

- ◆学会誌第 21 号への投稿募集締切日の延長案内

- ◆本学会事務局からのご案内

- ◆編集後記

・第 152 号

発行日 2023 年 2 月 13 日

内容 ◆第 25 回年次大会(11/27)の報告詳細特集

- ◆第 60 回知の創造研究部会 2/17(金)のお知らせ

- ◆第 61 回知の創造研究部会 3/17(金)のお知らせ

- ◆『英文論文投稿の募集』
- ◆学会誌第 21 号への投稿募集締切日の延長案内
- ◆本学会事務局からのご案内
- ◆編集後記

(3)HP リニューアルの実施

6. 渉外

1. 各省庁等、影響力ある講師を招いた、大会、研究部会の開催

2022 年 10 月：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター

テーマ：「KM と AI」

2023 年 1 月：経済産業省 産業技術環境局 国際標準課

テーマ「KM と ISO」

2023 年 2 月：日本経済新聞社 編集局

テーマ「KM と人的資本」

## II. 研究部会の活動

1. 東海部会 部会長 栗本英和 代表世話人 大西幹弘

(1) 東海部会季報 第 18 号の発行(2022 年 4 月)

- ・オーエスジーの事業内容と沿革
- ・オーエスジーの経営品質
- ・オーエスジーのコア・ナレッジ

(2) 東海部会の中核である、高成長・高収益の企業や活動等におけるコア・ナレッジの調査研究  
第 1 回企画会議

- ・調査対象となる候補企業の選定方針について意見交換を行った。
- ・新規に調査する候補企業について次回までに調査素材を持ち寄る。

第 2 回企画会議

- ・有力候補企業に関する事業内容と収益、コア・ナレッジ、独自能力等について意見交換した結果、候補企業に打診することを決めた。

部会長・世話人会議

- ・候補企業へ打診した結果、候補企業から辞退の連絡があり、再検討することになった。
- ・コロナ禍が十分に収束していない現状下での新たな依頼は容易でなく、過去に実施した企業の追跡調査に方針変更した。

2. 知の創造研究部会 部会長 植木英雄 代表世話人 植木真理子

(1) 活動実績

第 58 回(創設 15 周年記念第 2 弾)

日時：2022 年 8 月 19 日(金) (18:30 ~ 20:30 Zoom オンライン)

講演者：西川義寛氏(古河林業株式会社 経営企画室長兼統括管理長)

テーマ：「林業におけるサービス化を通じたケイパビリティ統合」

コメント：西中美和氏(香川大学大学院地域マネジメント研究科教授)

第 59 回知の創造研究部会

日時:12月9日(金)(18:30~20:40Zoom オンライン)

特別講演:中川功一先生

テーマ:『エコシステム・ディスラプション戦略「イノベーターのジレンマ」の後継議論』

#### 第60回知の創造研究部会

日時:2023年2月17日(金)夜(18:30~20:45、Zoom オンライン)

講演者:廣田章光先生(近畿大学経営学部教授、デザイン・クリエイティブ研究所センター長)

テーマ:「デザイン思考の全体像とイノベーション分野におけるデザイン研究の可能性」

#### 第61回研究部会

日時 2023年3月17日(金)夜(18:30~20:30 Zoom オンライン)

講演者:柴田雄一郎氏(一般社団法人 i-ba 代表理事、地域デザイン学会参与)

テーマ:「アート×デザイン×ロジカル思考を横断するクリエイティブ・マネジメントによる新価値創造」

#### 3. ソーシャルメディア研究部会 部会長 荒木聖史 代表世話人 清水美也子 休会

#### 4. ISO等標準化研究部会 部会長 齋藤稔

##### (A)KM事例の研究

海外 ISO 30401:2018 認証取得事例掘り下げ(研究部会開催:2023年3月)

##### (B)ISO マネジメントシステムの研究

ISO 56000 シリーズ[イノベーション MS 国際規格]の動向把握(実践 KI 研究部会との合同研究部会開催(2022年7月))

##### (C)ISO 30401/TC260 動向の把握

##### (D)関連機関との関係維持

国内審議団体からの依頼に応え、「ISO 30401:2018/Amd1 英和対訳版」を監修(研究部会で日本語訳案読み合わせ&議論)

#### 5. 新産業革命研究部会 部会長 田原祐子 代表世話人 田村直樹

##### 第1回:AI×ナレッジ・マネジメント 2022.10.6

講師:国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター首席研究員  
本村陽一氏

##### 第2回:ISO×ナレッジ・マネジメント 2023.1.27

講師:経済産業省 国際標準課課長補佐 田中健人氏

##### 第3回:人的資本(リスクリング)×ナレッジ・マネジメント 2022.2.28

講師:日本経済新聞社 編集局編集委員 中村 奈都子氏

#### 6. 実践 SDGs 経営研究部会 部会長 高山千弘 代表世話人 矢澤洋一

##### 第1回:2022年8月4日 第1回分科会ソーシャル・アクション・フォーラムの開催

実践事例「エーザイの hhc 活動にみる共感を通じたイノベーション」

##### 第2回:2022年11月18日 第2回分科会ソーシャル・アクション・フォーラムの開催

実践事例「難病の方との共同化で得た共感を通じたイノベーション」

7. 実践ナレッジ・イノベーション研究部会 部会長 西原(廣瀬)文乃 代表世話人 穂積義剛
- 6 月 21 日(火)働くことへの関心ごと:意義・楽しさ・辛さ  
Innovation 株式会社代表取締役 学会理事 野村恭彦氏
  - 7 月 19 日(火)ISO56000 イノベーション・マネジメント・システム  
JIN 西口尚宏様 ※ISO 等標準化研究部会との合同開催
  - 8 月 23 日(火)開発協力・技術協力の経験から考える新しいコトの興し方  
Nyika Energy Consultant 林 俊行
  - 9 月 20 日(火)働くことへの関心事:意義・楽しさ・辛さ:働くことと生きることが交差するところ  
Innovation 株式会社代表取締役 学会理事 野村恭彦氏

## 第二十五期 決算

自 2022年 4月 1日  
至 2023年 3月 31日

日本ナレッジ・マネジメント学会

東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F  
国際ビジネス研究センター内

## 貸借対照表

2023年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

		資産の部	
	<b>【流動資産】</b>		
	郵便振替口座	3,186,794	
	流動資産合計		3,183,794
	資産の部合計		3,183,794
		負債の部	
	未払金	30,000	
	負債の部合計		30,000
		正味財産の部	
	<b>【剰余金】</b>		
	前年度HP積立金	200,000	
	前年度繰越	2,803,813	
	当年度剰余金	152,981	
	正味財産の部合計		3,156,794
	負債及び正味財産の部合計		3,186,794
	(2023年度への繰越金 3,156,794円)		

## 第 25 期収支計算書

2022年 4 月 1 日～2023年 3 月 31 日

(単位:円)

I	収入の部		
	1	会費収入	
		法人会員	800,000
		個人会員	924,000
		雑収入*	8,100
		当期収入合計( A)	1,732,100
II	支出の部		
	1	事業費	
		研究部会費	77,000
		年次大会費	32,000
		学会誌発行費	321,640
		海外活動費	110,000
		当期収入合計( B)	540,640
	2	管理費	
		HPリニューアル費	588,500
		事務委託費	327,800
		通信費	77,671
		諸会費	30,000
		支払手数料	917
		雑費	13,591
		管理費( C)	1,038,479
		支出合計( B)+( C)	1,579,119
		当年度収支	152,981
		前年度HP積立金	200,000
		前年度繰越金	2,803,813
		次年度繰越金	<b>3,156,794</b>

剰余金処分案

2023年 5 月27日

(単位:円)

当期末処分剰余金 3,156,794円

これを次の通り処分する

次期繰越剰余金 3,156,794円



第2号議案 第25期(2022年度)会計監査報告の件

監査報告書

2023 年 4 月 29 日

日本ナレッジ・マネジメント学会

会長 一條 和生 殿

監事

境 健一郎 

監事

鈴木 一夫 

日本ナレッジ・マネジメント学会 第 25 期 (2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日

まで) の貸借対照表及び収支計算書を監査致しました。

監査の結果、貸借対照表及び収支計算書は会計帳簿と一致し、学会の資産、負債及び

収支の状況を正しく示していると認めましたのでここに報告致します。

以 上

第3号議案 第26期(2023年度)活動計画及び予算案承認の件

第26期(2023年度)活動計画

I. アドミチームの活動計画

1. 総務会計

- (1) 第26回会員総会の企画運営
- (2) 理事会の企画運営(2か月に1度程度、Zoomで実施予定)
- (3) 新規会員対応
- (4) 中間決算の実施
- (5) 第26回年次大会運営補佐
- (6) 第26期(令和5年度)一般会計決算
- (7) 第27期予算の立案
- (8) 第27回会員総会の企画・準備、同日実施予定の年次大会の企画・準備補佐
- (9) 学会活動の魅力を考える「機会」を検討する。発信は広報と連携

2. 大会・研究会

2023年秋に第26回年次大会を開催する。

3. 海外

- (1) KMGN ネットミーティング参加(2-3か月に一度程度の頻度)
- (2) KMGN 世界大会参加(秋頃)
- (3) KMGN からの依頼事項対応(訪日など)
- (4) 海外ジャーナル投稿、海外学会発表支援(ノウハウ、補助金など)
- (5) 海外KM関連学会、大学などの教育研究機関への訪問、意見交換
- (6) 海外から有名教授、経営者を招聘する講演会の実施

4. 学会誌

- (1) 『ナレッジ・マネジメント研究 第20号』 発行準備(発行予定:7月末)
- (2) 『ナレッジ・マネジメント研究 第21号』 投稿締切:2023年11月30日

5. 広報

- (1) ホームページ整備
- (2) メルマガ発信
- (3) 会員総会運営の補助(広報分野)
- (4) 年次大会運営の補助(広報分野)
- (5) 学会活動の魅力を考える「機会」を検討にあたり、発信を担当

6. 渉外

- (1) 関係各省庁等へのアプローチを実施し、交流を深める。
- (2) 他学会へのアプローチを実施し、交流を深める。

(3)研究部会、年次大会等をフックとして、広くアプローチを実施する。

## II. 研究部会の活動計画

### 1. 東海部会 部会長 栗本英和 代表世話人 大西幹弘

- (1)東海部会が行う調査研究の対象である、高成長・高収益の要件を満たす候補企業の観点と抽出を検討する。
- (2)候補企業の業務実績情報等を収集し、対象企業を絞り込み、対象企業に可否を打診する。
- (3)対象企業を確定した後、具体的な調査方針を決めて実施する。

### 2. 知の創造研究部会 部会長 植木英雄 代表世話人 植木真理子

#### (1)活動方針

デザイン思考×アート思考×意味のイノベーションの事業デザイン事例研究、DX時代のUX/CX 価値共創イノベーション(産学の連携)、オープンサービスビジネス・モデル、エコシステム・ディスラプション戦略等に関するKM 実践事例の考察と理論モデル化の構築を目指す。

#### (2)活動計画

- ・予定:第62回(7/29 午後) 第63回(9/30 午後)、第64回(2/16)、第65回(3/22)
- ・場所:拓殖大学C館中教室
- ・内容:前半:ゲスト講演、部会員の報告、質疑・全体討論を予定

### 3. ソーシャルメディア研究部会 部会長 荒木聖史 代表世話人 清水美也子 休会

### 4. ISO等標準化研究部会 部会長 齋藤稔

#### (1)活動方針

活動方針(4本柱)に沿った活動を継続。

(A)KM事例の研究

(B)ISO マネジメントシステムの研究

(C)ISO 30401/TC260 動向の把握

(D)関連機関との関係維持・強化

- ・日本のISO TC260 Pメンバー化/国内委員会への参画により、国際/国内規格への関与を強化

#### (2)活動計画

- ・予定:上期2回、下期2回、それぞれ部会メンバー限定対象を1回、学会員対象を1回
- ・内容:4本柱に沿った内容を予定

### 5. 新産業革命研究部会 部会長 田原祐子

#### (1)活動方針

「AIの知」と「人間の知」にフォーカスしたテーマを深掘りする。

#### (2)活動計画

- ・予定:年5回

・内容:

第 1 回:AI×ナレッジ・マネジメント 4 月 3 日 Zoom にて開催

講師:横河電機株式会社 常務執行役員 阿部剛士氏

第 2 回:TRIZ×ナレッジマネジメント

講師:SONY 高木芳徳氏

以降未定

6. 実践 SDGs 経営研究部会 部会長 高山千弘 代表世話人 矢澤洋一

(1)活動方針

実践 SDGs 経営部会と GIFT との合同部会を開催

テーマ:ポストSDGsを目指したリビングラボ構想-なぜ、企業がリビングラボ・エコシステム構想に SECI モデルによって 挑む必要があるのか-

(2)活動計画

・予定:GIFT との合同部会を年 6 回程度開催

7. 実践ナレッジ・イノベーション研究部会 部会長 西原(廣瀬)文乃 代表世話人 穂積義剛

(1)活動方針

野村恭彦理事をスーパーバイザーに迎え、Fast パラダイムに対して新たに Slow パラダイムを融合する越境的な知識創造理論の研究や実践の可能性を探る。

※Fast パラダイム:短期的で特定の成功のため効率効果を重視する思考・行動

Slow パラダイム:長期的で広い視野を持って価値を生み出す思考・行動のこと。

(2)活動計画

・予定:毎月 1 回第 3 木曜日 18:30-20:30

・場所:立教大学池袋キャンパス、および Zoom

・内容:知識創造理論の新しい展開を探る

多様な参加者による「変態(メタモルフォーゼ)」するコミュニティづくり

## 第26期(2023年度)予算案

第26期（令和5年度）予算案 2023年4月から2024年3月まで					
（単位：円）					
				2023年度予算	補足
<b>1. 収納の部</b>					
1-1.	会費収入	法人会員	700,000	7社*7口	
		個人会員	920,000	8,000円*115名	
1-2.	雑収入		0		
	収入合計		1,620,000		
<b>2 支出の部</b>					
2-1.	事業費				
		研究部会	252,000		
		年次大会	100,000		
		学会誌発行費	500,000		
		事業費 計	852,000		
2-2.	管理費				
		事務委託費	330,000		
		外注費	0		
		通信費	80,000		
		消耗品費	0		
		海外活動費	150,000		
		HP保守費用	106,000		
		諸会費	30,000		
		雑費	15,000		
		予備費	10,000		
		管理費 計	721,000		
	支出 合計		1,573,000		
	今期収支		47,000		
		前期繰越金	3,156,794		
	次期繰越金		3,203,794		

**第4号議案 第26期(2023年度)役員の変更**

会則により、評議員、会長、副会長、理事、監事および顧問を改選する。

**第10条 役員**

本会に次の役員を置く。

- (1) 評議員会議長 1名
- (2) 評議員会副議長 2名以内
- (3) 評議員 10名以内
- (4) 会長 1名
- (5) 副会長 2名以内
- (6) 理事 30名以内
- (7) 監事 2名以内
- (8) 幹事 10名以内

2. 評議員は、理事会が選考し、総会における議決を経て、会長が委嘱する。
3. 評議員会議長および評議員会副議長は、評議員の中から互選する。
4. 会長、副会長は、理事会が選考し、総会において選任する。第11条 役員を選任および役職停止 理事および監事は、会員の中から理事会において選考し、理事出席者の過半数の承認を経て、会員総会において選任する。

**第11条 役員を選任および役職停止**

理事および監事は、会員の中から理事会において選考し、理事出席者の過半数の承認を経て、会員総会において選任する。なお、監事は理事および幹事を兼ねることが出来ない。

2. 新たな理事、監事を選考する際には、3名以上の理事の推薦を必要とする。
3. 幹事は会員の中から会長が選考し、理事会の出席者の過半数の承認を経て、理事会で選任する。
4. 理事、監事、および幹事が第9条の対象となる場合、理事会は会員総会の除名議決に先立ち、理事会の議決を経て役職を停止することができる。
5. 役職停止議決に際し、理事会は事実解明のため特別委員会を設けることができる。

**第12条 役員の任期**

役員の前任期は2事業年とし、2年毎に全役員を改選する。改選に当たっては再任を妨げない。

2. 任期中に役員が退任する場合には、第11条2項にもとづき、新たな役員を補充することができる。補充選任された役員の前任期は、前任者の前任期とする。

**1. 評議員の委嘱**

2023年3月25日(土)の理事会において、評議員を再任として選考した。

- 飯島 彰己 (三井物産株式会社顧問)  
佐久間 万夫 (株式会社Eパートナー代表取締役社長)  
安達 一彦 (株式会社インテリジェントウェイブ 創業者)

**2. 会長、副会長の選任**

2023年3月25日(土)の理事会において、一條和生理事を会長として選考した。

副会長の選考はなし。

## 3. 理事の選任

2023年2月19日(土)の理事会において、理事の退任、新規、継続の承認を得て選考した。

## (1)理事の退任 〈 〉内は退任理由

- 田村 直樹 〈本人都合〉
- 田中 孝司 〈本人都合〉
- 進 博夫 〈本人都合〉

## (2)新規理事の選任

- 中鉢 欣秀 (産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻 教授)

## (3)理事の再任

- 荒木 聖史 (株式会社バイタルエリア)
- 一條 和生 (IMD 教授、一橋大学名誉教授)
- 伊藤 武志 (大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI) 教授・企画調整室長、大阪大学万博推進室副室長)
- 植木 英雄 (東京都立産業技術大学院大学 客員教授、先端ソフトウェア工学研究所研究員、価値共創研究所代表)
- 植木 真理子 (拓殖大学商学部教授)
- 大西 幹弘 (名城大学経営学部 教授)
- 岡田 依里 (Keck Graduate Institute, Adjunct Professor of Strategy; Boston Cancer Policy Institute, Inc, Senior Academic Fellow; Harvard Library, Visiting Researcher)
- 加藤 鴻介 (KC総合研究所 (横浜市) 代表 株式会社 ディスコムジャパン 執行役員)
- 栗本 英和 (名古屋大学名誉教授・未来社会創造機構特任教授)
- 佐脇 英志 (都留文科大学教授)
- 齋藤 稔 (富士通株式会社)
- 芝坂 佳子 (あずさ監査法人サステナブルバリュー本部サステナブルバリュー推進部長 パートナー)
- 清水 美也子 (Assemblage LLC 代表、NPO 法人「SECI プレイス」副代表理事)
- 高山 千弘 (エーザイ株式会社 ナレッジクリエーション・フェロー、ノックオンザドア株式会社共同創業者・取締役、FCAJ理事、日本アスペン研究所モデレーター、Eudaimonia Lab Association Trustee / Executive Coach、アクティブ・ウェルエイジング協会副理事長)
- 田原 祐子 (社会構想大学院大学 実務教育研究科 教授、株式会社ベーシック 代表取締役、一般社団法人ナレッジマネジメント・ラボ 研究所長、兼松株式会社 社外取締役、サンヨーホームズ株式会社 社外取締役 監査等委員)
- 筒井 万理子 (近畿大学経営学部教授、近畿大学経営イノベーション研究所員)
- 西原(廣瀬)文乃 (立教大学経営学部国際経営学科准教授、政策研究大学院大学 (GRIPS) 非常勤講師、ユヌスよしもと・ソーシャルアクション取締役)

- 野村 恭彦 (Slow Innovation 株式会社 代表取締役, 金沢工業大学(KIT)虎ノ門大学院教授, 国際大学 GLOCOM 主幹研究員, 日本ファッション協会フェロー, 社団法人渋谷未来デザイン フューチャーデザイナー)
- 八田 光啓 (日本電気株式会社)
- 穂積 義剛 (株式会社内田洋行)
- 村上 修司 (アクセラテクノロジー株式会社、NPO 法人「SECI プレイス」代表理事)
- 矢澤 洋一 (株式会社日経BP参与)

#### 4. 監事の選任

2023年3月25日(土)の理事会において監事を再任として選考した。

- 境 健一郎 (元かんき出版(株)最高顧問)
- 鈴木 一夫 (日本トムソン(株)元顧問、元監査役)